

寅さん歩 その19

バーチャルウォークで

中山道（東下り）を歩くー5



平野 武宏

バーチャルウォーク東海道五十三次で京都・三条大橋に到着した寅次郎、帰路はバーチャルウォーク中山道六十九次で江戸・日本橋へ戻ります。

今回は各宿場を紹介しながら、京都からの中山道（東下り）を楽しみます。各宿場の紹介は山と溪谷社の「歩いて旅する中山道」を参考にしました。写真は無料画像を使用しています。

前は赤坂宿から鶴沼宿まで歩きました。今回は太田宿から大湫宿まで歩きます。

[太田宿] 岐阜県美濃加茂市太田本町 最寄駅 JR高山本線 美濃太田駅

2024年3月14日太田宿（京都・三条大橋から146km）に到着しました。

「太田の渡し」を控えた宿場で、この地方の行政・文化の中心として発展しました。また飛騨街道と郡上街道の分岐点で交通の要衝です。宿場は木曾川に沿って続いています。写真下左は当時の名残を今にとどめている脇本陣林家です。主屋は1769年（明和6年）の建築で国の重要文化財に指定されています。写真下右は林家の向かいにある造り酒屋 御代桜酒造です。また太田宿は文豪坪内逍遙の故郷です。



[伏見宿] 岐阜県可児郡御嵩町伏見 最寄駅 名鉄広見線 明智駅

木曾川を渡り、2024年3月14日伏見宿（京都・三条大橋から154km）に到着しました。北側を流れる木曾川畔の新村湊は中山道の貨物港として大いににぎわいました。現在は宿場を貫く道が交通量の多い国道21号線となっているため、当時の雰囲気はほとんど感じられません。写真下左は伏見交差点の角の本松公園の宿場行灯、写真下右は国道21号線沿いの古い町屋です。



[御嶽宿] 岐阜県可児郡御嵩町御嵩 最寄駅 名鉄広見線 御嵩駅

2024年3月16日 御嶽（みたけ）宿（京都・三条大橋から158km）に到着しました。天台宗の願興寺の門前町として栄えました。願興寺は815年（弘仁6年）創建の古刹です。街道沿いには古い家並みが続きます。



[細久手宿] 岐阜県瑞浪市日吉町細久手 最寄駅；JR中央本線 釜戸駅

2024年3月20日 細久手（ほそくて）宿（京都・三条大橋から169km）に到着しました。「くて」とは低湿地の意味だそうです。一本道の街道の両側に民家が並ぶ細い集落です。古い建物はほとんど残っていません、旅籠の大黒屋（写真下左）は貴重な存在です。大井宿から太田宿までの間、宿泊施設は大黒屋だけとのこと。写真下右は標柱のみが立つ細久手宿本陣跡です。



【大湫宿】 岐阜県瑞浪市大湫町 最寄駅 JR中央本線 釜戸駅

2024年3月21日 大湫（おおくて）宿（京都・三条大橋から175km）に到着しました。大久手宿とも書きます。奥深い山中にたたずむ大湫は皇女和宮降嫁の折に1泊した宿場町です。その行列は今もなお語り草です。1861年（文久元年）10月20日に京を発ち、10月28日に大湫宿に1泊、行列は総勢約5千人、4組に分かれて4日に渡ったそうです。

継立のために大湫宿に招集された人馬は2万8200人と馬820頭。布団2万4000枚、米500俵。仮建宿舎32棟、継立人足用の仮小屋33棟を建てるなどてんやわんやの2ヶ月だったと伝わります。写真下左右は大湫宿の古い建物です。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝